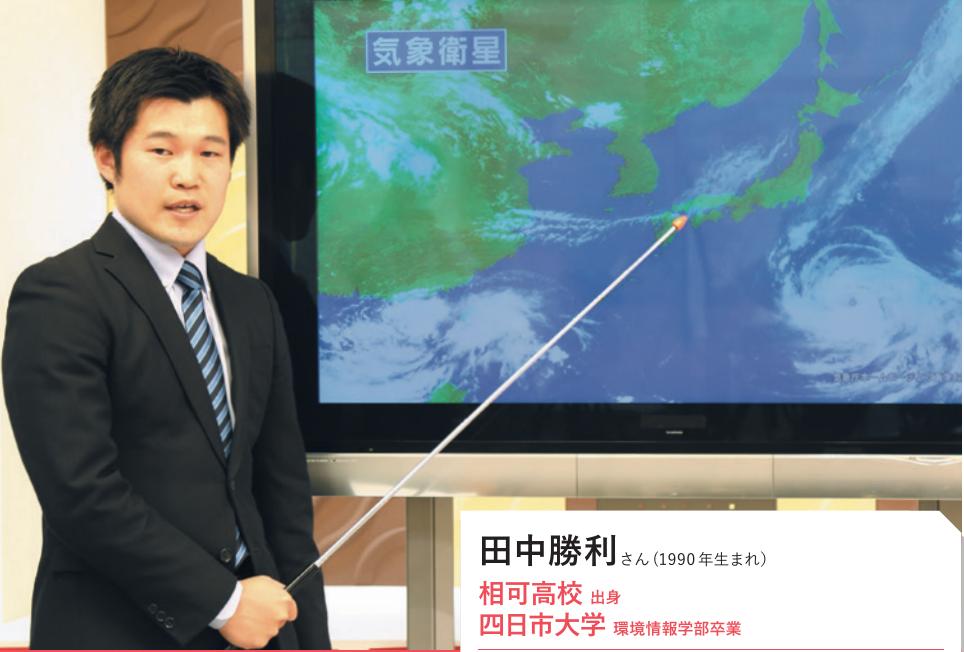


災害時に正確な予報を伝えることで、
みなさんの生命や財産を守る。

なるためには

- 必要資格 / 気象予報士
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、環境について学ぶ
→気象予報士国家試験に合格→ケーブルテレビに就職し、
気象予報士として活躍



田中勝利さん(1990年生まれ)

相可高校 出身
四日市大学 環境情報学部卒業

株式会社 シー・ティー・ワイ

四日市市本町8-2
<https://www.cty-net.ne.jp/>

「高校卒業後、環境について学べる
四日市大学環境情報学部に進学し
ました。地域パトロールのサーク
ルを立ち上げたり、学祭の実行委
員をやつたりと充実した大学生活
でしたね。オーストラリアへホーム
ステイにも行きました。モノの見方
や価値観の幅が広がりましたし、日
本にずっといたらわからなかつた
ことを体感できたと思います。あと
は、ゼミの先生との出会いも印象に
残っています。海洋実習に行って船
上で宿泊し、気象観測や水質調査を
したり、さまざまな経験やチャンス
を与えてくれる先生でした」

「幼いころから空を見ることが好き
で、よく地面に寝転がって雲を
眺めていました。気象予報士になり
たいと思うようになったのは、小学
5年生のときの天気の授業がきっ
かけです。ニックネームも天気君
でしたし(笑)、天気一筋の生活でし
た。気象予報士国家試験の合格率は
5%前後。通信講座など自学で気象
について学び、3回目の挑戦で合格
することができました」

かなりの狭き門ですが、あきらめず
に挑戦を続けたのは?
「高校生のとき、宮川村の豪雨で友
達のおじいちゃんが亡くなつてしま
いました…。大雨が降つて土石
流が起きるかもしれない、心配は
していたんです。『かつちやんに天
気のことと相談してしたら助かっ
たかもな…』という言葉を友達か
い分やりがいもあります」

――仕事について――

「『幼いころから空を見ることが好き
で、よく地面に寝転がって雲を
眺めていました。気象予報士になり
たいと思うようになったのは、小学
5年生のときの天気の授業がきっ
かけです。ニックネームも天気君
でしたし(笑)、天気一筋の生活でし
た。気象予報士国家試験の合格率は
5%前後。通信講座など自学で気象
について学び、3回目の挑戦で合格
することができました』

――仕事内容を簡単に教えてください――

「気象予報士は、さまざまな気象觀
測データをもとに天気、降水、気温、
風などの予報をおこないます。台
風などの災害時に正確な予報を伝
えることで、みんなの生命や財産
を守ることができる仕事です。私は
シーアティー・ワイに所属し、三重県
北勢地域の『ケーブルニュース』とい
う番組で月曜から金曜の天気コー
ナーを担当しています」

「ラジオでも天気コーナーを担当し
ているのですが、生放送でコメント
をもらうことがあるんです。『田中
さんの情報を誰かに伝えて命を守
ることができた』というコメントが
届くとうれしいですね。人命に関わ
る情報なので間違った発言はでき
ません。プレッシャーや責任が大き
い分やりがいもあります」



ありがとうございました。

――メッセージ――
「目標に向かって挑戦を続けるな
ど、まわりからの意見で悩んでしま
うことがあるかもしれません。私も
2回目の気象予報士国家試験に不
合格だったときに悩んだ時期があ
ります。でも最終的には『自分自身
が本気でやりたいことか?』『一生
をかけても実現したい夢か?』が大
切。もしそうなのであれば、その夢
が叶うまであきらめずに努力してい
ます。それまでは、純粋に天気を
楽しんでいました。責任をもってそ
れを誰かに伝えることが大切だと
思つようなったのは、その出来事が
きっかけです」



10歳 天気の授業がきっかけで気象予報士を志す。
↓
20歳 四日市大学在学中、3度目の挑戦で気象予報士国家試験に合格。
↓
31歳 さまざまなデータをもとに天気を解説。正確な情報を伝えることで、住民の生命や財産を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





おいしい食品を提供するのは大前提。プラス安心安全な食品を提供する。

尾澤愛美さん(1994年生まれ)
四日市四郷高校 出身
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部卒業

株式会社竹屋
四日市市桜町963-1
<https://www.takeya-ltd.co.jp/>

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、管理栄養士の資格を取得→食品製造、飲食店のフランチャイズ事業を展開する企業に就職

特に明確になりたいものがあつたわけではないので、学校の資料室やネットで大学の情報や職業などをいろいろ調べて進路を決めました。自分が何が好きかを考えたときに思い浮かんだのは、食品や栄養に関係すること。さらに医療にも興味があつたので、鈴鹿医療科学大学管理栄養コースに進学しました」

大学時代について教えてください。

「管理栄養士を育成するための「コースなので、国家試験に向けた実習や座学が中心です。座学では、食品の成分、病気と栄養の関係などを勉強しました。調理実習では、ご飯の炊き方やお味噌汁の作り方からはじまり、高血圧の方用の減塩食、腎臓が悪い方用のカリウムを減らした献立、嚥下困難の方用の流動食や嚥下食まで幅広く学びました。大学卒業後は、プリンやゼリー、シュークリームの製造、ミスターードーナツ、ケンタッキー・フライドチキンのフランチャイズ事業を展開する株式会社竹屋に就職しました」

――仕事について

「管理栄養士としての知識や技術を自分なりにいかして、仕事をしています。入社1年目に配属されたのは、店舗サービス事業部。丸4年間、ケンタッキー・フライドチキンで仕事をしました。主な仕事は、商品の作成やお客様への商品提供、人とのモノとお金の管理です。スタッフの労働時間や売上金の管理、食材や扱う包材全般の管理を任せられました」

「――やりがい

「ケンタッキーで働いていたときと今は、店舗サービス事業部。丸4年間、ケンタッキー・フライドチキンで仕事をしました。主な仕事は、商品の作成やお客様への商品提供、人とのモノとお金の管理です。スタッフの労働時間や売上金の管理、食材や扱う包材全般の管理を任せられました」

「おいしい食品を簡単に教えてください。なるためには

「――心がけていることは?」

「おいしい食品を提供するのは大前提。プラス安心安全な食品を提供できるよう心がけています。そのうえで、食べていただいた方に『おいしい!』『買ってよかった!』と思ってもらえる食品を作れるように努めています。あと、製品だけではなく『竹屋』という会社 자체ももっと全国に広めていきたいです」

「――ありがとうございました。」



18歳 食品や栄養について学ぶため、鈴鹿医療科学大学に進学。

22歳 栄養の知識、さまざまな調理について学ぶ。大学卒業後、竹屋に就職。

28歳 お客様の「おいしい!」のために、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



――学生時代

――メッセージ

「資格は特に必要ありません。資格をたくさんもっていることよりも、あいさつができる、返事ができるといった基本的なことをできるかが重要です。仕事内容は入社してから学ぶことが多いので問題ありません。学生時代は、もっとそのときにしかできないことを経験してほしいです。興味があることを調べたりするなかで選択肢の幅が広がり、やりたいことがきっと見つかります! 少しでも興味をもつたことは、失敗を恐れずに挑戦していくには、成功だと思います。」

街をかつこよくする
唯一無一のデザイン会社に。

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な道筋 / 高校卒業→服屋で働き始める→地元で服屋を独立後、東京に事務所を構えアパレルブランドを展開→アパレル不況にあい店を閉める→デザイン会社ATISを立ち上げる



岩瀧太郎 さん(1977年生まれ)

四日市中央工業高校 出身

株式会社ATIS

四日市市安島1-7-15 BONビル1・2F
<https://atis-design.com/>

—学生時代

「高校での3年間はとにかく友達と遊びるのが楽しく、ファッショントバンド漬けの毎日でした。結果、好きが高じて19歳で本格的にバンドを始め、23歳でメジャーレコード会社からデビュー。28歳で解散するまで、全国ツアーナどもしてしまった。そのときに培った仲間と今も仕事をすることもあるんですよ。」

—仕事について

「ファッショントも好きだったので、そちらの仕事もバンド活動と平行して展開していました。地元だけではなく東京にも進出して自社ブランドを立ち上げ、35店のセレクトショップに自社製品を卸すまでに成長。しかしファーストファッショントやアウトレットの台頭などでアパレル不況になり店を閉めました。その後、デザインブランディングのノウハウを軸に、グラフィックデザインの仕事を個人で始め、翌年にATISを立ち上げました。」

仕事内容を簡単に教えてください。

「グラフィックやWEBのデザイン、映像制作、企業や商品の価値を高めるブランディング、WEBを使い効果を分析して広告戦略を立てるWEBマーケティングなどをお客様に提案してクリエイティブの力で効果を上げていく仕事です。その中で、私はディレクターとしてプロジェクト全体の管理や、アイ



「バスが売れていくなど、お客様によろこんでいたたくことにやりがいを感じます」

—メツセージ

「若いスタッフには『悩むなら考へる。考へるなら行動する』と教えています。あと、若いうちは『遊びなさいとも言います。私自身、高校生のときにのめり込んだファッショントや音楽、それを通じて仲間ができるコミュニケーション力が培われたと思っています。そしてその経験が積み重なり、今にいきています。難しいことは言いません。とにかくいっぱい遊んでみてください。」

ありがとうございました。



15歳 ファッションとバンドにのめり込む。

21歳 アパレルショップとアパレルブランドを立ち上げる。

30歳 株式会社 ATIS 設立(法人化)。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



地域の事件事故、困りごとの現場にいち早く駆けつけて対応する。



久保田 雛巳さん(1997年生まれ)

川越高校出身
名古屋外国語大学 現代国際学部卒業

三重県警察本部

津市栄町1-100
<http://www.police.pref.mie.jp/>

それ以外の人は10か月間警察学校に入校し、現場で必要となる法律、書類作成、捜査手続、装備資機材の使用方法、逮捕術などを学びます。体力鍛成など時には大変なこともありますでしたが、同期や教官の支えもあり乗り越えることができました。

市民からの感謝の言葉がやりかい
です。文番での勤務ももうすぐ1年
が経とうとしています。今は上司や
先輩のアドバイスを受けながら対
応することが多いですが、今後は經
験を積んで自分から率先して動け
るようになりたいです」

「試験合格後は、大卒者等は半年間、
——仕事について
暮らすなかで、自分が強くなつて家
族や身近な人を守りたいという思
いが芽生え、転職を決意しました。
独学で試験対策をして、警察官採用
試験に合格することができました」

事者や相談にみえた方の多くは、少
なからず不安を抱えています。私
は、どんなことでも真摯に話を聞く
姿勢を大切にしています。自分の話
も交えながら信頼関係を築き、話し
てもらいやすい雰囲気づくりをす
ることが大切ですね」

は、語学をより深く学ぶため、名古屋外国語大学に進学しました。大学では、英語以外にもスペイン語や通訳についても学びました。大学卒業後は航空系の企業に就職。沖縄でのひとり暮らしが始まりました」

注意喚起を行うなど、地域に密着した様々な活動を行っています。私の勤務する交番の管内には団地や集



18歳 語学を中心に学ぶ。アメリカで2週間のホームステイも経験。

24歳 家族や身近な人を守りたいという思いから警察官に転職。

25歳 どんな人の話にも真摯に耳を傾け、
地域住民の安心安全な生活を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



――メツセージ
「まずは警察官採用試験に合格すること」
が第一歩。苦手な科目も真剣に勉強すれば得意科目に変わりますし、面接では自分の信念を伝えることが大切です。「警察官になりたい」という強い気持ちを持つて取り組んでください。高校時代は、頑張ろうと思えるモノを決めて、それを最後までやり遂げてほしいです。目標をもつて高校生活を送ってください。私にとって、それが語学の勉強でした。何かをやり遂げたという経験は、掛けそつなどきに自分を支える自信に繋がりますよ。ありがとうございました。」



日々の地道な積み重ねが大切。

YOUTH ユースフラッシュ FLASH

三重出身の有名人インタビュー

津商業高校出身のバレーボール選手、井上美咲さんを独占取材！

「青春時代」
「バレーボールを始めて以来、バレーボール漬けの生活をしていました。高校時代も大学時代もバレーボール以外にも、いろいろなスポーツをやつていていたりました。学生時代に仲間を作ることはとても大事だと思いますよ。バレーを仕事として意識したのは、大学3年の終わりごろです。就職活動をしようと思っていたら、監督から『バレーを続けてみないか』と言われ、『バレーを仕事に』という気持ちが芽生えました。現在は、
V.LEAGUE DIVISION1(V1リーグ)に所属する久光スプリングスでプレーしています」

――仲間の存在が支えになりました
「バレーボールと向き合うことがつらいと思う時期もありました。でも、まわりの仲間が本当にいい人ばかりで、とても支えになりました。時にはぶつかり合うこともあります。しかし、それもお互いを信頼しているからこそ。本当に頼れる仲間がいたからこそ、その時期を乗り越えられたのだなと思います。あと

「自分もちゃんとしなきゃ」という気持ちになりました。その気持ちが、今でもずっとバレーボールを続けられている原動力ですね」

――スポーツ選手の意識
「心がけていることは、人から見られていて、街中を歩いていても私のこ

相談したり頼れる人が近くにいることも大事です。ひとりですべての仕事をやるのは無理ですし、向き合もあります。できないことは、

「大学時代は教職課程をとっていましたので、模擬授業でみんなの前で話をしたり、言葉づかいや物事の伝え方などを学んだりしました。そのときの学びが、今もそうした場面で活かされている感じます」

――日々の積み重ね

「試合前のルーティンをよく聞かれるのですが、ベストパフォーマンスを発揮するために特別なことはしないなくて、いつも通りに過ごしています。練習通りにやろうという気持ちで臨んでいます。普段以上のことはできないと思うので、日々の地道な活動が大切ですね。これはスポーツに限らず、どんな仕事でも言えることだと思いますよ。あとは、

「大学に進学すると、教員や職員の方などいろいろな経験をしている方が、交流できる機会があると思うので、自分から積極的にコミュニケーションをとってほしいですね。あとは、自分の将来を見据えて資格を取得したり、いろいろなことに挑戦して経験を積み、多くのことを吸収してください！」

ありがとうございました。

井上美咲さん 1994年生まれ
津商業高校 出身 愛知学院大学 心身科学部卒業



今季
26歳

21歳
↓
22歳
↓
27歳

大学在学中には、東海大学春季・秋季大学リーグ戦セッター賞を受賞。
大学卒業後、埼玉上尾メディックスに入団。2019-20シーズンはチームキャプテンに就任。
2020年7月に久光スプリングスに移籍。セッターとして活躍中。



――メッセージ

「大学に進学すると、教員や職員の方などいろいろな経験をしている方が、交流できる機会があると思うので、自分から積極的にコミュニケーションをとってほしいですね。あとは、自分の将来を見据えて資格を取得したり、いろいろなことに挑戦して経験を積み、多くのことを吸収してください！」



自分を信じ、エンジンの性格を見極めて
イメージ通りのレースを。

三重出身の有名人インタビュー

四日市商業高校出身のボートレーサー、山川波乙さんを独占取材！

「高校卒業後、日本唯一の養成機関である『ボートレーサー養成所』に入所するための試験を受けましたが、残念ながら3回ほど落ちてしましました。体力には自信がありましたが、学力も悪くなかったはずなんんですけどね…(泣)。いま思えば、『ボートレーサーになる!』という心構えの部分が足りていなかつたのかかもしれません。試験会場の雰囲気が想像以上にピリピリしていたことを覚えていま

いこともあつたので、逆にそれを長所としていかせるボートレー
サーの道に進もうと思いました」

見て男女間隔なく競い合って、トレーラーの姿に衝撃を受けました。『私がめざすのはコレしかないと直感的に感じました。バス二台並んで走る姿が、

サーとしてデビューアーしたと聞き、近所のボートレース場にふらつと観戦しにいったことがきっかけで、初めて生のボートレースを

つ、忍耐力、精神力など多くのことを学び鍛えられました」
「この道をめざした経緯は？」
「仲のよかつた先輩がボートレー

——ボーネー——
「高校時代はバスケ部に所属しており、全国大会優勝をめざして練習に励む毎日でした。2年生のときにベスト8までいくことができたのですが、優勝をめざしていたので悔しいという気持ちのほうが強かったです。部活からも意義やしさ

A driver in a green and red racing suit leans forward in a white and orange speedboat. The boat is moving quickly, creating a spray of water behind it. The driver is wearing a white helmet with a blue and red visor.

山川波乙 さん 1997年生まれ
四日市商業高校 出身



卷之二

16

30

1



バスケ部に所属し、全国大会優勝をめざし厳しい練習の毎日を過ごす。

4回目で試験に合格し、ポートレー
サー養成所へ入所。持ち前の忍耐力
をいかし、プロとしてデビューへ。

レースはもちろん、メディア出演なども積極的におこない、ポートレース業界に貢献

男町から、今、やがて新門の言葉に挑戦してみてください。強い気持ちがあれば、きっといいボートレーサーになれると思いますよ」

絶対にできません。レースでは、ギリギリのラインを攻められるかどうかがポイントになってくるので、強い心と自信をもって挑んでいます。そのためにも、レース前の準備日々の練習や生活が重要なんです」



お客様のすきまニーズに応える。
1個からでも注文を受けて製造し、

瀬古 靖さん(1987年生まれ)

四日市中央工業高校 出身
日本福祉大学 情報社会科学部卒業

株式会社前田テクニカ

三重郡菰野町大字千草字鶴澤5727番地14
<https://www.maeda-technica.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→精密板金・プレス加工などをおこなう企業に就職

ー学生時代

「高校は土木科だったので、トンネル工事などさまざまな土木工事の技法について学んだり、測量やコンクリートの強度を測る実験をしたりしました。高校時代はめちゃくちゃ楽しかったです。男子ばかりだったこともあり、毎日友達とわい遊んでいました。青春って感じですね。とりあえず大学には行きたかったと思っていたので、そこで将来のビジョンを固めて、いこうと思つていきました。高校卒業後は、日本福祉大学情報社会科学部に進学しました。手が不自由な人が持つ箸やコップをデザインする講義が印象に残っています」

ー仕事について

「現在は、電機、鉄道、医療、通信、防衛など、あらゆる分野で精密板金・プレス加工をおこなう前田テクニカで働いています。最初に教わるのは、プレス加工について。安全の意識やぼうれんそう(報告・連絡・相談について学びました。私は工業高校でも土木科だったので、プレス機やレーザー加工機などの使い方は1から覚えていました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「弊社の強みは、産業用モータや眼鏡機器の台座部品など、専門分野に特化した部品を1個から少量の注文を受けて製造し、お客様のすきまニーズに応えることです。現在私は、鉄を短冊状にカットしていくシヤーリング加工、レーザー加工や溶接、プレス加工などをおこなっています」

「高校は土木科だったので、トンネル工事などさまざまな土木工事の技法について学んだり、測量やコンクリートの強度を測る実験をしたりしました。高校時代はめちゃくちゃ楽しかったです。男子ばかりだったこともあり、毎日友達とわい遊んでいました。青春って感じですね。さあざまな工程をサポートしている感じですね」

具体的には、どのような工程で製品を製造しているのですか?

「最初は、シャーリングで鉄板を短冊状に加工し、その板をプレス機で曲げ加工をして、スポット溶接で部品同士くっつけていきます。モノによりますが、10分の1ミリ以内の精度で加工するように意識しています。私は各工程に応援に行つている立場なので、絶対に失敗は許されません。とにかく慎重に、確認をして作業するよう心がけています」



ーメッセージ

「私は入社後、クレーン、玉掛け、危険物取扱者(乙四)、有機溶剤作業主任者などの資格を取得しました。入社時に必須の資格はありません。その都度、作業に必要な資格を取得していく感じです。この仕事を、コツコツ頑張れる人に向いています。特にクレーンを使う作業は命に関わるので、慎重にていねいな仕事をしてほしいです。中学・高校の友達は一生のだと思いますし、社会に出てからのお支えになつたりもしますよ」

ありがとうございました。



18歳

とにかく楽しい3年間を過ごす。高校卒業後、日本福祉大学へ。

30歳

前田テクニカに転職。プレス加工やレーザー加工について学ぶ。

34歳

ていねいな仕事を心がけ、高精度なモノづくりに取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





下村渚さん(1999年生まれ)
四日市商業高校出身

株式会社稻垣鉄工

四日市市広永町74
<https://www.inatetsu.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→建築鉄骨製作をおこなう企業に就職→設計を担当

「高校時代は吹奏楽部に所属し、部活に専念していました。舞台上に立つことが多く、プレッシャーに強くなったと思います。私の担当楽器はフルート。私ひとりが吹けてもいい演奏ができるわけではないので、みんなの音を聞いてしっかりと練習することが大切だと実感しました。協調性も養われましたね」

就職先を選んだきっかけは?

「3年生のとき、卒業生が高校に来て仕事を話をしてくれる機会がありました。そこで『図面を描いている先輩の話を聞いて、おもしろそうだと思った』ことが、設計の仕事を志望したきっかけです。自分が描いた図面が、実際にカタチになって社会に出ていくことに魅力を感じました」

—仕事について

「建築鉄骨製作をおこなう稻垣鉄工に就職し、現在5年目です。1年目

は、鉄骨の材料発注や納品書の管理など事務系の仕事が多かったです。2年目からは、現在の部署に異動して設計の仕事を任せられています。最初に教わったのは、図面を描くCADシステム『実寸法師』という専用ソフトの使い方。知識がまったくなくてわからない単語ばかりだったので、その都度先輩に聞いて覚えていました。意識面で大切なのは、当たり前のことが絶対にチェックを怠らないこと。次の工程に不良品を流さないように、学生時代とは意識を切り替えて責任感をもつて仕事に取り組んでいます」

「高校時代は吹奏楽部に所属し、部活に専念していました。舞台上に立つことが多く、プレッシャーに強くなったと思います。私の担当楽器はフルート。私ひとりが吹けてもいい演奏ができるわけではないので、みんなの音を聞いてしっかりと練習することが大切だと実感しました。協調性も養われましたね」

—学生時代



「さまざまな建物の鉄骨部分の図面を作成しています。みなさん見たことのある建物にもたくさん携わっていますよ。お客様である総合建設会社から設計図をいただき、そこから鉄骨部分を抜き出して図面を作成します。強靱性や施工性などを考慮してお客様とチェックを繰り返して仕上げています。その図面をもとに材料を調達し、工場にて加工・溶接を繰り返し、その後、建築現場にて組み立てていきます」

「心がけていることは?」
「作業する現場の方々がわかりやすい図面を作成することです。自分がわかっても意味がないかもしれません。わかりにくいところは拡大図を作成したりして、誰が見てもわかりやすい図面作成を心がけています」

「施工現場を見に行つたときに、私が描いた図面どおりに鉄骨が組み立てられていく様子を見るとやりがいを感じます。最初のころに比べて図面作成のスピードも早くなりましたが、大規模な建物も任せても覚えるようになってきたので、自身の成長も実感しています」

—メッセージ

「特に必須の資格はありません。私は入社後に鉄骨製作管理技術者2級を取得しました。どんな仕事でも一緒にだと思いますが、自分がおこなった仕事には責任がつきります。责任感をもつて一つひとつ仕事を取り組む姿勢が大切です。高校時代は、何かに打ち込んでやり遂げる経験をしてください。私はそれが部活動でした。社会に出ると心が折れそうになることもありますが、『部活も頑張れんだから、仕事をもっと頑張れる!』という自信につながっています」

「ありがとうございました。」

17歳 吹奏楽部に所属し、部活に打ち込んだ高校時代。

18歳 描いた図面がカタチになっていくことに魅力を感じ、稻垣鉄工に就職。

22歳 誰が見てもわかりやすい図面作成を心がけ、日々の仕事に取り組む。



前編
後編

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





千種啓資さん(1980年生まれ)

暁高校出身

京都外国語大学 英米語学科卒業

有限会社日の出屋製菓

三重郡菰野町菰野 5062

<https://www.hinodeya-seika.net/>

なるためには

●必要資格 / 製菓衛生師

●主な進路 / 大学で英語を学ぶ→在学中に服飾週末コース受講→アパレルメーカーに就職→商品企画の力をつける→みやげ菓子メーカー(家業)へ転職する

多くの人と出会って可能性を広げて。

—大学時代

学生時代はサッカーとファッショ

ンが大好きでした。中学生のとき、一人で栄に買い物に行つたんです。

好きだったBEAMSに緊張しながら入ると、雰囲気のある店員さんが話しかけてくれて、素敵なニットを提案してくれました。憧れのお店で服の話を聞いて買い物できた高揚感がすごく、将来ここで働きたいと強く思いました。高校は中高一貫で進学校。服飾専門学校を志望していましたが、周間に理解されず大学へ進路変更。少しでも服飾の道に近づくために、バイヤー業務に役立つかもと外国语大学に絞って受験しました。大学入学後もアルバイトでお金をして服飾学校の週末コースを受講。服飾の仕事にいかに近づけるかで行動していました

—仕事について
「大学卒業後、なんと念願叶つてあのとき決意したBEAMSに就職しました。服だけでなく生活雑貨からカルチャーまで揃う会社で、各商品を沼のように愛する人ばかりがいる刺激的な環境。さまざまなお品や売り場を担当するなかで、古いものを新しく価値づける「リブランディング」という考え方や商品に出会い、感銘を受けました。このときほんのり、家業であるみやげ菓子のことを考えるようになりました。うちにも長く続く商品があつたなど」

「家業を継ぐことは考えていませんでしたが、兄にすすめられたんで



がっていく感覚は、この仕事の面白いところです

—メツセージ

「進学・就職に向けて学ぶのはとても大事ですが、おおいに学び、おおいに遊んでいろんな人と出会いたいです。ひとつの出会いで自分の考え方とか生き方が変わることがあるから。だから出会いの数を増やしたり、興味のある方向へちょっとでもプラスになりそうなどころに立つときがくるはずです!」

ありがとうございました。



14歳
→
18歳

31歳

一人で買い物を行ったBEAMSでの接客され衝撃を受ける。

京都外国語大学へ進学。学生生活で国内外の文化・歴史の多様性を学ぶ。

BEAMSに10年勤務後、家業へ転職。地元でまちづくりや地域フランディングに取り組む仲間に出会い、経験と出会いがつながりはじめる。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>